

# 東部保健所 国東地域(国東市・姫島村)感染症情報

令和6年第15週(4月8日～4月14日)

## ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

国東地域(国東市・姫島村)ではA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者の報告数が増加しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とする細菌性の感染症です。2～5日の潜伏期間の後、突然38度以上の発熱、咽頭痛、リンパ節の腫れ、嘔吐などが見られます。熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱(しょうこうねつ)」に移行することがあります。排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します(経口感染)。予防策としては、衛生管理の基本である手洗い、うがいの励行が非常に重要かつ有効です。

## ・インフルエンザについて

国東地域(国東市・姫島村)ではインフルエンザ患者の報告数が増加しています。

感染症発生動向調査事業に基づく、58定点医療機関からの患者数の報告で、県内のインフルエンザの1定点医療機関あたりの患者数が、第15週(4月8日～4月14日)に、167人(定点あたり2.88人)報告されました。

感染の再拡大を防ぐため、引き続き、うがいやこまめな手洗い、手指のアルコール消毒などを心がけ、感染予防対策の実施をお願いします。また、体調が優れない場合は、仕事や学校を休むなどの対応も検討してください。

(第15週)

疾患名 年齢	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻疹(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
0歳					1.00	2.00											
1～3歳				1.00	5.00					1.00							
4～6歳	2.00				2.00												
7～9歳	1.00																
10～14歳						1.00											
15～19歳																	
20歳以上	1.00	2.50															
今週	4.00	2.50		1.00	8.00	3.00				1.00							
70歳以上(再掲)		0.40															
先週	2.50	2.50			2.00	1.00				1.00							

指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上しています。  
(定点医療機関数:インフルエンザ/COVID-19定点 2、小児科定点 1)

疾患ごとの警報・注意報の基準値

※単位は定点あたり報告数

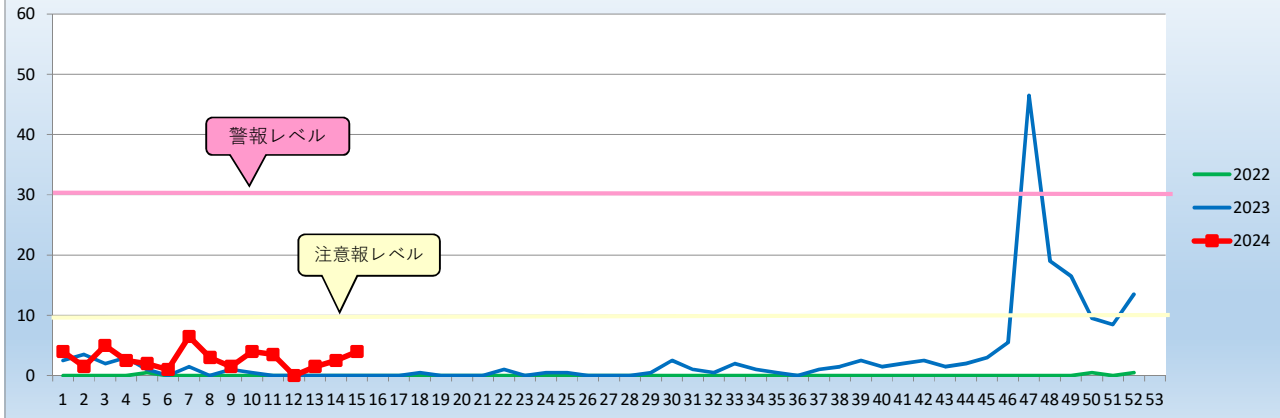
	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3
急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-
流行性角結膜炎	8.0	4.0	-

警報レベル:大きな流行が発生または継続していると疑われることを指します。

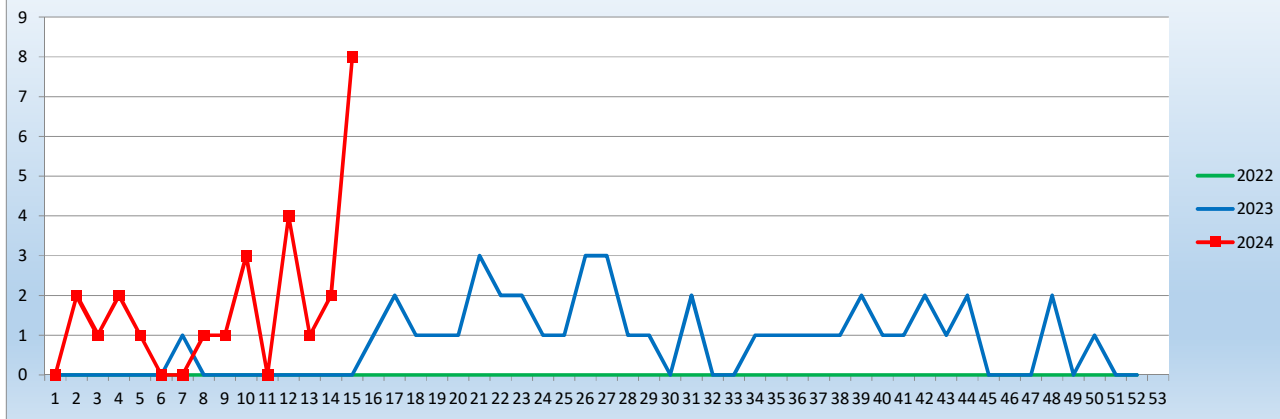
注意報レベル:流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

# 過去3年間の発生動向(国東地域)

## 定点当たり報告数 インフルエンザ



## 定点当たり報告数 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## 定点当たり報告数 咽頭結膜熱

